

2016年1月5日

株式会社リプロセル
代表取締役社長 横山 周史

2016年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様の多大なるご支援により、リプロセルも今年で14年目を迎えることができました。

近年「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」や「医薬品医療機器等法」の施行など再生医療に関する法整備が着実に進むなか、昨年の弊社は、再生医療への本格的な進出を見据えた競争力の高い新製品を連続的に展開し、iPS細胞関連市場を力強く牽引する事業基盤を構築することができました。特に、臨床への応用を格段に近づけた極めて高い安全性を誇るiPS細胞作製技術「RNAリプログラミングキット」や、受精卵に近い理想的な状態のiPS細胞を作製可能な高機能ヒトiPS細胞培養液「ReproNaïve」、DMSOフリーで高い安全性を保ちつつ長期大量保存が可能な凍結保存液「RproCryo DMSO Free」等は世界最先端の技術を結集して開発したものであり、世界のデファクトスタンダードになるよう、積極的に事業展開を進めてまいります。

さらに当社は、昨年12月に英国企業のBiopta Limited社を新たにReprocellグループに迎えることにより、従来の製品メーカーとしてのポジションから、創薬支援アウトソーシングサービスにまで事業ポートフォリオを拡大いたしました。Biopta社は、鮮度の高い臓器を医療機関から調達する独自ネットワークを欧州・米国全土に有しているとともに、それを前臨床治験に応用するGLP認証設備の高い運用ノウハウを蓄積しております。また、同社は世界有数のメガファーマ各社との継続的な取引実績を誇っており、その高い競争優位性を確固たるものとしております。

新年を迎え、当社はBiopta社を始めとするグループ5社（日欧米）の事業シナジーを通じたiPS細胞ビジネスの加速を最重点施策と位置づけ、積極的なグローバル展開を一層強化してまいります。

今後とも、企業価値の向上に全力を尽くし、再生医療のナンバーワン企業としての成長を目指し、全従業員一丸となって進んでまいりますので引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。

最後に、皆様におかれましても、幸多き年になりますよう役職員一同祈念しております。

以 上